

連携プラグイン for 蔵奉行クラウド

仕入伝票データ連携

ユーザーズマニュアル

はじめに

本資料は導入済みの連携プラグイン for 蔵奉行クラウドのご利用にあたり、その操作/設定方法を説明するものです。

本製品は、kintone アプリに読み込むプラグインとなっております。
プラグインを kintone に読み込み、作成したアプリに追加して、ご利用ください。

プラグインのセットアップについては、kintone の以下のマニュアルをご確認の上、導入ください。

プラグインの追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/admin/add_plugin/plugin.html

セットアップ後、作成したアプリにプラグインを追加してご利用ください。

アプリにプラグインを追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/user/app_settings/plugin.html

本製品では、プラグイン設定に奉行クラウドの接続情報を設定することで、奉行クラウドへデータの参照/登録が可能となります。

■ 目次

はじめに	ii
第 1 章 プラグイン(データ登録)	1
1.1 プラグインの設定	1
1.2 データの登録	5
第 2 章 プラグイン(データ参照)	8
2.1 プラグインの設定	8
2.2 データの参照	11
第 3 章 ご利用上の制限事項	12
3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限	12
3.2 蔵奉行クラウドの項目の登録・参照規則	13
第 4 章 蔵奉行クラウド API 利用情報の確認	14
4.1 tenantid (法人接続情報)の確認	14
4.2 API トークンの確認	15
第 5 章 利用期限の通知	17
5.1 利用期限 2 週間前	17
5.2 利用期限切れ	17
第 6 章 付録	18
6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合	18
6.2 参照したデータを再利用してデータ削除を行いたい場合	21
6.3 仕入伝票データの規則	22
6.4 仕入伝票データの規則 (補足)	41

第1章 プラグイン(データ登録)

1.1 プラグインの設定

連携先の蔵奉行クラウドの tenantid（法人接続情報）と API トークンを入力してください。接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。（設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。）

tenantid（法人接続情報）と API トークンの発行方法については、「第4章 蔵奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

カテゴリー：
プラグイン

連携プラグイン for 蔵奉行クラウド(仕入伝票データ登録)



詳細

バージョン：1

奉行の設定

tenantid (法人接続情報)

APIトークン

接続先環境

☐ 本番環境 ☒ 体験版環境

データ登録の設定

☒ 1件ずつ登録する ☐ 一括で登録する

項目のマッピング

> 【ヘッダー情報】

> 【証憑】

> 【明細情報】

> 【付箋情報】

> 【在庫受払情報】

○ データ登録の設定

kintone から蔵奉行クラウドへデータを登録する方式を設定します。

- 『1 件ずつ登録する』

kintone のレコードのデータを 1 件ずつ蔵奉行クラウドへ登録したい場合、『1 件ずつ登録する』を選択してください。レコード追加画面でレコードを保存した後に、そのレコードのデータを蔵奉行クラウドへ連携し登録します。

- 『一括で登録する』

kintone のレコードのデータを一括で蔵奉行クラウドへ登録したい場合、『一括で登録する』を選択してください。レコード一覧画面に、「一括で登録する」ボタンが表示され、ボタン押すと kintone の複数のレコードのデータを一括で蔵奉行クラウドへ登録できます。

『一括で登録する』を選択した場合は、連携対象となる kintone のレコード判定のために、以下を設定してください。

- ・ 『連携対象の kintone のフィールド名』

連携対象となるレコードを判定するための kintone のフィールド(「文字列 (1 行)」)を、このアプリの「フォーム」から追加し、「プラグインの設定」で指定してください。

- ・ 『連携対象となる値』

連携対象となるレコードを判定する値を設定してください。

例) 未連携

設定しない場合(空の場合)は、『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値が空のレコードが連携対象となります。

- ・ 『連携後の値』

蔵奉行クラウドへデータ登録に成功した後の値を設定してください。

例) 連携済

『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を、設定した値で更新します。

(登録したデータを二重に登録しないために設定すると便利です。)

データ登録の設定	
	☐ 1件ずつ登録する ☒ 一括で登録する
連携対象kintoneフィールド名	奉行登録フラグ(奉行登録フラグ) ▼
連携対象となる値	未登録
連携後の値	登録済

☰ 🏠 🔔 ★

「一括で登録する」ボタン

🔍

📄 一覧1 ▼ 🌐 ▼

🔍 📊 ☁️

+

⚙️ ▼

⋮

1 - 6 (6件中)

	レコード番号	奉行登録フラグ	伝票No.	仕入先コード	仕入先名	仕入先事業所名	仕入先担当者名	精算先コード	
📄	17	登録済	000159	00000103	港南興…	東京支店	蒲田 太一	00000103	✎ ✕
📄	16	登録済	000162	00000112	八王子…	福井支店		00000112	✎ ✕
📄	15	登録済	000161	00000104	川崎商…	神奈川支店	近藤 健太	00000104	✎ ✕
📄	14	未登録	000003	00000003	株式会…	水戸支店	原木 茂	00000003	✎ ✕
📄	13	未登録	000002	00000002	株式会…	横浜支店	矢部 務	00000002	✎ ✕
📄	12	未登録	000001	00000001	太平洋…	札幌支店	大木 誠	00000001	✎ ✕

1 - 6 (6件中)

○ 項目のマッピング設定

連携先の蔵奉行クラウドの項目に対応する kintone のフィールドを選択してください。
連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列（1 行）」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」「日付」です。

【明細情報】【付箋情報】【在庫受払情報】の項目は、明細データを連携するためにサブテーブルのフィールドを選択してください。連携可能な kintone のサブテーブルは1つで、上記と同じ種類のフィールドが利用できます。。

規定値を入力したい場合は、ドロップダウンから『規定値を入力』を選択し、テキストボックスに規定値となる値を入力してください。

項目にデータを連携したくない場合は、ドロップダウンから『入力なし』を選択してください。

項目のマッピング

▼ 【ヘッダー情報】

データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)	規定値入力
伝票区分：	伝票区分(伝票区分) ▼	
仕入日付：	仕入日付(仕入日付) ▼	
精算日付：	精算日付(精算日付) ▼	

1.2 データの登録

- データ登録の設定で『1 件ずつ登録する』を設定した場合
データの登録は画面上部にある保存ボタンから登録できます。
登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」のメッセージが表示されれば、蔵奉行クラウドとの連携は完了です。

The screenshot displays a web application interface. At the top, there is a navigation bar with icons for menu, home, notifications, and favorites. A search bar labeled 'アプリ内検索' is on the right. A dark overlay dialog box is centered, showing the text 'devrtatgj.cybozu.com の内容' and '蔵奉行クラウドにデータを登録しました', with 'キャンセル', '保存', and 'OK' buttons. Below the dialog, a form titled '【ヘッダー情報】' contains input fields for '伝票区分' (0), '仕入日付' (2021/05/27), '精算日付' (2021/05/27), '伝票No.' (000001), '仕入先コード' (00000001), and '仕入先名' (太平洋販売株式会社). A large circular loading spinner is visible in the center of the form area.

○ データ登録の設定で『一括で登録する』を設定した場合

データの登録はレコード一覧画面にある一括で登録するボタンから登録できます。
登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」のメッセージが表示されれば、蔵奉行クラウドとの連携は完了です。

The screenshot shows the top navigation bar with a red box highlighting the cloud upload icon, labeled 「一括で登録する」ボタン. Below the navigation bar is a table with 9 columns: レコード番号, 奉行登録フラグ, 伝票No., 仕入先コード, 仕入先名, 仕入先事業所名, 仕入先担当者名, 精算先コード, and an action column. The table contains 6 rows of data. The status of the records is as follows:

レコード番号	奉行登録フラグ	伝票No.	仕入先コード	仕入先名	仕入先事業所名	仕入先担当者名	精算先コード
17	登録済	000159	00000103	港南興...	東京支店	蒲田 太一	00000103
16	登録済	000162	00000112	八王子...	福井支店		00000112
15	登録済	000161	00000104	川崎商...	神奈川支店	近藤 健太	00000104
14	未登録	000003	00000003	株式会...	水戸支店	原木 茂	00000003
13	未登録	000002	00000002	株式会...	横浜支店	矢部 務	00000002
12	未登録	000001	00000001	太平洋...	札幌支店	大木 誠	00000001

The screenshot shows the same table as above, but with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box contains the text: devrtatgj.cybozu.com の内容, 蔵奉行クラウドにデータを登録しました, and an OK button. The table data remains the same.

ダイアログの OK ボタンを押すと連携したレコードの『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を『連携後の値』に設定した値で更新します。更新が完了すると以下のダイアログが表示され、OK ボタンを押すと表示中の画面を更新します。

devrtatgj.cybozu.com の内容

連携対象となるフィールドの値の更新が完了しました。
画面を更新して、再表示します。

OK

アプリ内検索

一覧1

1 - 6 (6件中)

	レコード番号	奉行登録フラグ	伝票No.	仕入先コード	仕入先名	仕入先事業所名	仕入先担当者名	精算先コード	
	17	登録済	000159	00000103	港南興...	東京支店	蒲田 太一	00000103	 
	16	登録済	000162	00000112	八王子...	福井支店		00000112	 
	15	登録済	000161	00000104	川崎商...	神奈川支店	近藤 健太	00000104	 
	14	未登録	000003	00000003	株式会...	水戸支店	原木 茂	00000003	 
	13	未登録	000002	00000002	株式会...	横浜支店	矢部 務	00000002	 
	12	未登録	000001	00000001	太平洋...	札幌支店	大木 誠	00000001	 

1 - 6 (6件中)

アプリ内検索

一覧1

1 - 6 (6件中)

	レコード番号	奉行登録フラグ	伝票No.	仕入先コード	仕入先名	仕入先事業所名	仕入先担当者名	精算先コード	
	17	登録済	000159	00000103	港南興...	東京支店	蒲田 太一	00000103	 
	16	登録済	000162	00000112	八王子...	福井支店		00000112	 
	15	登録済	000161	00000104	川崎商...	神奈川支店	近藤 健太	00000104	 
	14	登録済	000003	00000003	株式会...	水戸支店	原木 茂	00000003	 
	13	登録済	000002	00000002	株式会...	横浜支店	矢部 務	00000002	 
	12	登録済	000001	00000001	太平洋...	札幌支店	大木 誠	00000001	 

1 - 6 (6件中)

第2章 プラグイン(データ参照)

2.1 プラグインの設定

連携先の蔵奉行クラウドの tenantid（法人接続情報）と API トークンを入力してください。接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。（設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。）

tenantid（法人接続情報）と API トークンの発行方法については、「第4章 蔵奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

カテゴリー：プラグイン

連携プラグイン for 蔵奉行クラウド(仕入伝票データ参照)



詳細

バージョン：1

奉行の設定

tenantid (法人接続情報)

APIトークン

接続先環境

☐ 本番環境 ☒ 体験版環境

検索項目の設定

検索対象項目

☒ 仕入日付

☒ 精算日付

☒ 伝票No.

☒ 仕入先コード

☒ 仕入先名

☒ 部門コード

☒ 担当者コード

☒ プロジェクトコード

☒ 商品コード

☒ 商品名

☒ 倉庫コード

☐ 登録日時

☐ 修正日時

☐ 最終更新日時

項目のマッピング

> 【ヘッダー情報】

> 【証憑】

> 【明細情報】

> 【付箋情報】

> 【在庫受払情報】

○ 検索項目の設定

連携先の蔵奉行クラウドから受注伝票データを参照するときに利用する検索項目を選択してください。検索項目として以下が設定でき、チェックボックスにチェックを入れることで利用することが可能です。

検索項目の設定

検索対象項目

- ☒ 仕入日付
- ☒ 精算日付
- ☒ 伝票No.
- ☒ 仕入先コード
- ☒ 仕入先名
- ☒ 部門コード
- ☒ 担当者コード
- ☒ プロジェクトコード
- ☒ 商品コード
- ☒ 商品名
- ☒ 倉庫コード
- ☐ 登録日時
- ☐ 修正日時
- ☐ 最終更新日時

チェックを入れた検索項目は、レコード一覧画面の検索枠に表示されます。
(範囲検索は、開始と終了の両方を入力して検索してください。片方のみで検索すると、その項目は無視して検索します。)

サンプル
🔗
🔍
📊

+
⚙️
⋮

1 - 7 (7件中)

仕入日付
2021-05-27 ~ 2021-05-27

精算日付
2021-05-27 ~ 2021-05-27

伝票No.
~

仕入先コード
~

仕入先名
~

部門コード
~

担当者コード
~

プロジェクトコード
~

商品コード
~

商品名
~

倉庫コード
~

データ取得

	レコード番号	仕入日付	精算日付	伝票No.	仕入先コード	仕入先名	仕入先担当者	精算先事業所名	
	259	2021/05...	2021/05...	000007	00000001	太平洋販...	大木 誠	札幌支店	✎ ✕
	258	2021/05...	2021/05...	000006	00000002	株式会社...	矢部 務	横浜支店	✎ ✕
	257	2021/05...	2021/05...	000005	00000003	株式会社...	原木 茂	水戸支店	✎ ✕

○ 項目のマッピング設定

連携先の蔵奉行クラウドから参照したデータを入れる kintone のフィールドを選択してください。連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列（1 行）」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」です。

【明細情報】【付箋情報】【在庫受払情報】の項目は、明細データを連携するためにサブテーブルのフィールドを選択してください。連携可能な kintone のサブテーブルは 1 つで、上記と同じ種類のフィールドが利用できます。

「ラジオボタン」「ドロップダウン」を利用する場合は、予め取得できる値を設定してください。

参照しない項目には、『連携しない』を選択してください。

項目のマッピング

▼ 【ヘッダー情報】

データ項目名

kintoneフィールド名(フィールドコード)

伝票区分：

伝票区分(伝票区分)



伝票区分名：

伝票区分名(伝票区分名)



仕入日付：

仕入日付(仕入日付)



2.2 データの参照

データの参照は、レコード一覧画面で行います。

検索枠の項目に検索条件を入力し、データ取得ボタンを押すと連携先の蔵奉行クラウドから、データを参照することができます。（参照は、kintone アプリの参照時点の全てのレコードを削除し、奉行クラウドから取得したデータでレコードを登録し直す動作となります。）データの参照が完了すると以下の様なダイアログが表示されます。OK ボタンを押すとレコード一覧画面を更新して、参照したデータを表示できます。

devrtatgj.cybozu.com の内容

データを取得しました。
画面を更新します。

OK

蔵奉行連携

スペース: 蔵奉行連携 アプリ: 仕入伝票

サンプル

1 - 8 (8件中)

仕入日付

2021-05-27 ~ 2021-05-27

精算日付

伝票No.

仕入先コード

仕入先名

部門コード

担当者コード

プロジェクトコード

商品コード

商品名

倉庫コード

データ取得

	レコード番号	仕入日付	精算日付	伝票No.	仕入先コード	仕入先名	仕入先担当者	精算先事業所名	
	267	2021/05...	2021/05...	000008	00000001	太平洋販...	大木 誠	札幌支店	
	266	2021/05...	2021/05...	000007	00000001	太平洋販...	大木 誠	札幌支店	
	265	2021/05...	2021/05...	000006	00000002	株式会社...	矢部 務	横浜支店	
	264	2021/05...	2021/05...	000005	00000003	株式会社...	原木 茂	水戸支店	

第3章 ご利用上の制限事項

3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限

蔵奉行クラウドとのデータ連携では、kintone proxy を利用しています。

kintone proxy は、一定の時間レスポンスが無い場合、タイムアウトとなってしまう場合がございます。

マスター参照時に発生した場合、テキストボックスに入力する検索文字をさらに絞り込みが可能な文字に変更し、再度、検索をお試しください。

データ登録時に発生した場合、蔵奉行クラウドへログインし、該当するデータが登録されているか確認をお願いします。

The screenshot displays the Kintone proxy application interface. At the top, there is a navigation bar with a hamburger menu, a star icon, and a search icon. Below this, a header bar contains the text "devtalgjybozu.com @内容" and "kintone proxy - APIとの連携がタイムアウトしました。". The main content area is a form with several sections. The first section has a "キャンセル" button and a "保存" button. Below this, there are input fields for "伝票区分" (with a dropdown menu), "受付日時" (with a date picker set to "2020-10-27"), and "得意先コード" (with a value of "00000001"). A "消費税計算" button and a "請求書単位" dropdown are also present. The next section contains three input fields for "得意先名" (with a value of "太平洋電気株式会社"), "得意先事業所名" (with a value of "札幌支店"), and "得意先担当名" (with a value of "大木 誠"). Below these are four input fields for "部門コード" (with a value of "002"), "部門名" (with a value of "第二営業部"), "担当者コード" (with a value of "0102"), and "担当者名" (with a value of "佐藤 誠夫"). The following section has two input fields for "プロジェクトコード" and "プロジェクト名". The next section has two input fields for "請求先コード" and "請求先名". At the bottom, there is a large "検索" (Search) button. A loading spinner is visible in the center of the form area.

3.2 蔵奉行クラウドの項目の登録・参照規則

データ登録・参照時は、蔵奉行クラウドの項目毎のデータ規則に従い行ってください。各項目の詳細については「6.3 仕入伝票データの規則」をご参照ください。

第4章 蔵奉行クラウド API 利用情報の確認

4.1 tenantid (法人接続情報)の確認

蔵奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある運用環境情報の法人管理を選択してください。法人情報にある法人接続情報をご利用ください。

- ① 蔵奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「運用環境情報」を選択、「法人管理」を選択し、法人情報画面で法人接続情報を確認できます。



4.2 API トークンの確認

蔵奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある外部サービス連携の連携アプリケーションを選択してください。連携アプリケーション一覧の画面からアクセストークンを発行してご利用ください。

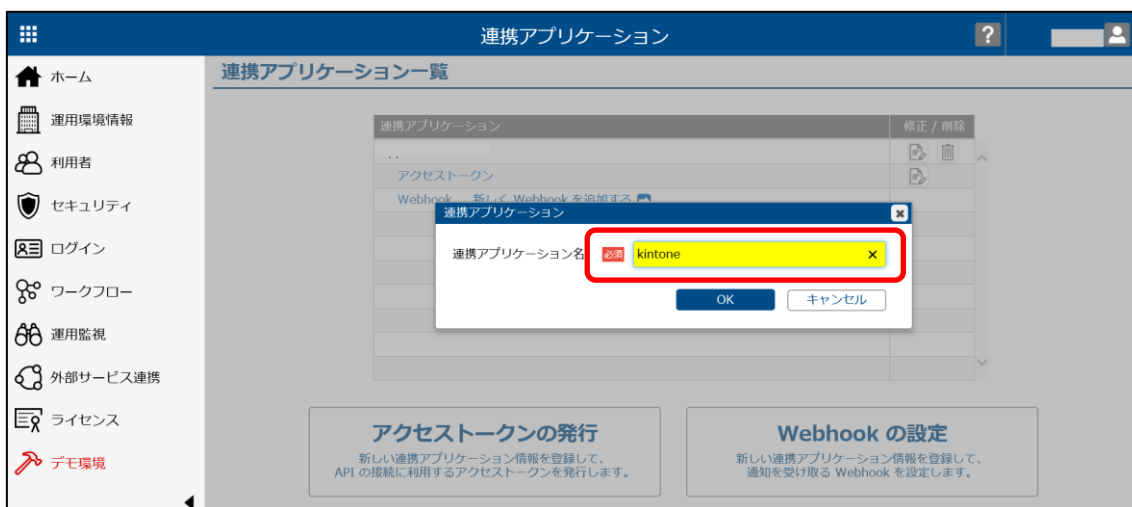
- ① 蔵奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「外部サービス連携」を選択、「連携アプリケーション」を選択し、連携アプリケーション一覧画面で「アクセストークンの発行」を押します。



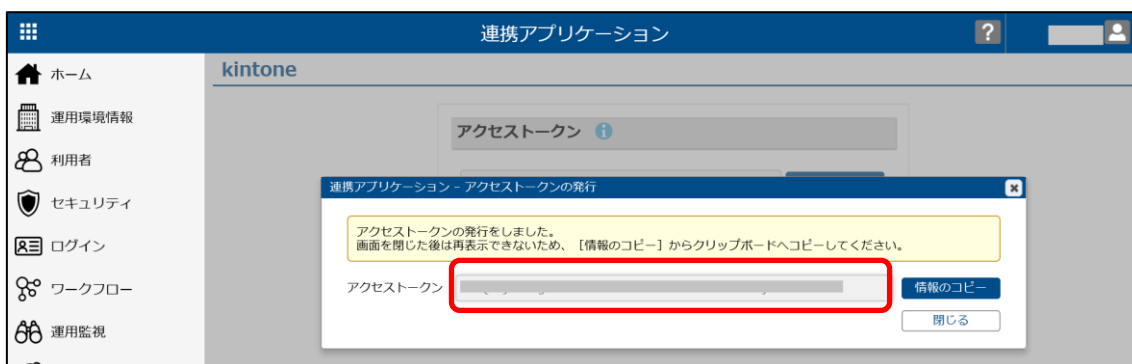
- ③ 連携アプリケーション名に「kintone」と入力し、「OK」を押します。
(連携アプリケーション名は、「kintone」以外でも問題ありません。)



- ④ アクセストークンの「発行」を押します。



- ⑤ 発行されたアクセストークンを確認できます。



第 5 章 利用期限の通知

5.1 利用期限 2 週間前

利用期限 2 週間前になるとダイアログが表示されるようになります。利用の継続をお考えの場合は、ダイアログの案内に従い継続利用の手続きを行ってください。

×

連携プラグイン for 蔵奉行クラウドをご利用いただきありがとうございます。
利用期限は2021-05-28です。
継続して利用する場合は、パートナー契約を申請ください。
<https://www.jbat.co.jp/obc/kconnect/2sDR8t08aFZcZQ-Mutg2.html>
パートナー契約の締結がされない場合は、サービスを停止させていただきます。

確認

×

連携プラグイン for 蔵奉行クラウドをご利用いただきありがとうございます。
利用期限は2021-05-28です。
ご利用の継続につきましては、販売店を通じてご注文ください。
ご注文がない場合は、サービスを停止させていただきます。
※ 受付からデータの反映まで数日かかる場合がございます。

確認

5.2 利用期限切れ

利用期限切れになるとダイアログが表示されるようになり、連携プラグイン for 蔵奉行クラウドの機能をご利用できなくなります。再度のご利用をお考えの場合は、弊社窓口で利用申請を行ってください。

×

利用登録を行ってください。

確認

第6章 付録

6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合

kintone のアクション機能を利用することで、参照プラグインで参照したデータを再利用して、登録プラグインを利用しているアプリから、蔵奉行クラウドにデータ登録を行うことができます。

- ① 参照プラグインを利用しているアプリのアプリ設定を開き、設定タブのその他の設定にあるアクションを選択します。

The screenshot shows the '仕入伝票連携アプリ_参照' (Purchase Invoice Integration App - Reference) settings page. The '設定' (Settings) tab is selected. Under the 'その他の設定' (Other Settings) section, the 'アクション' (Action) option is highlighted with a red box. Other visible options include '一般設定' (General Settings), 'カスタマイズ/サービス連携' (Customization/Service Integration), and '運用管理' (Operation Management).

- ② 作成ボタンを選択します。

The screenshot shows the 'アクション' (Action) creation screen. A red box highlights the '作成' (Create) button in the top left corner. The main content area explains that actions are used to transfer data between apps and provides a link to the 'ガイドブック vol.06 アクション編' (Guidebook vol.06 Action Edition). Below the text is a table showing the created action.

	アクション名	コピー先のアプリ	最終更新者	最終更新日時	
再活用	再活用	仕入伝票連携アプリ_登録	Administrator	2021-04-26 17:23	

- ③ アクションの設定画面で、アクション名を入力し、コピー先として、登録プラグインを利用しているアプリを選択します。
- ④ コピー先のアプリを選択後、フィールドの関連付けで、参照アプリの再利用したいデータがあるフィールドと登録アプリのフィールドの関連付けを行います。
- ⑤ 関連付けが完了したら保存ボタンを押して、アプリを更新してください。

アクションの設定

* アクション名 : 再利用

コピー元 : 仕入伝票連携アプリ_参照

* コピー先 : 仕入伝票連携アプリ_登録

フィールドの関連付け :

すべてクリア

仕入先コード	→	仕入先コード	+	×
仕入先名	→	仕入先名	+	×
仕入先事業所名	→	仕入先事業所名	+	×
仕入先略称	→	仕入先略称	+	×
仕入先担当者	→	仕入先担当者名	+	×
部門コード	→	部門コード	+	×
担当者コード	→	担当者コード	+	×
消費税計算	→	消費税計算	+	×
伝票No.	→	伝票No.	+	×

保存

キャンセル

○アクションを利用する

アクション機能を設定すると参照アプリのレコード詳細画面にアクションボタンが表示されるようになります。再利用したいデータのレコード詳細画面で、そのボタンを押すと関連付けしたフィールドのデータを再利用した登録データに遷移することができます。

必要な情報を修正後、登録ボタンを押すと蔵奉行クラウドにデータを登録することができます。

The diagram illustrates the process of reusing data from a record detail screen to a registration screen. A blue arrow points from the '再利用' (Reuse) button in the top screen to the registration screen below.

Top Screen (Record Detail):

- Buttons: 再利用 (highlighted with a red box)
- Section: ▼ 【ヘッダー情報】
- Fields:
 - 伝票区分: 0
 - 伝票区分名: 債務計上
 - 仕入日付: 2021/05/27
 - 精算日付: 2021/05/27
 - 伝票No.: 000008
 - 仕入先コード: 00000001
 - 仕入先名: 太平洋販売株式会社

Bottom Screen (Registration):

- Buttons: キャンセル, 保存
- Section: ▼ 【ヘッダー情報】
- Fields:
 - 伝票区分: 0
 - 仕入日付: 2021/05/27
 - 精算日付: 2021/05/27
 - 伝票No.: 000008
 - 仕入先コード: 00000001
 - 仕入先名: 太平洋販売株式会社

6.2 参照したデータを再利用してデータ削除を行いたい場合

参照したデータを再利用し、処理区分の項目を『1』にして、登録することにより、参照したデータを蔵奉行クラウドから削除することができます。

参照したデータの再利用方法は、「6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合」をご参照ください。

○アクションを利用して、データ削除を行う

アクション機能を設定すると参照アプリのレコード詳細画面にアクションボタンが表示されるようになります。再利用したいデータのレコード詳細画面で、そのボタンを押すと関連付けしたフィールドのデータを再利用した登録データに遷移することができます。

遷移後、処理区分のフィールドに『1』を入力し、登録ボタンを押すと蔵奉行クラウドからそのデータを削除することができます。

The diagram illustrates the process of deleting data by reusing it. It consists of two main screenshots connected by a large blue curved arrow pointing from the top to the bottom.

Top Screenshot (Record Detail View):

- A button labeled **再利用** (Reuse) is highlighted with a red box.
- Below it is a section titled **▼【ヘッダー情報】** (▼【Header Information】).
- Fields in this section include:
 - 伝票区分 (Document Type): 0
 - 伝票区分名 (Document Type Name): 債務計上 (Debt Recognition)
 - 仕入日付 (Purchase Date): 2021/05/27
 - 精算日付 (Settlement Date): 2021/05/27
 - 伝票No. (Document No.): 000008
 - 仕入先コード (Supplier Code): 00000001
 - 仕入先名 (Supplier Name): 太平洋販売株式会社 (Taipaiyang Sales Co., Ltd.)

Bottom Screenshot (Registration Form):

- Buttons for **キャンセル** (Cancel) and **保存** (Save) are at the top.
- A section titled **摘要 3** (Summary 3) contains a large text area.
- Below this is a field for **処理区分** (Processing Category) with the value **1** entered. This field is highlighted with a red box.
- Other fields include:
 - 更新対象伝票No. (Update Target Document No.)
 - 更新対象伝票日付 (Update Target Document Date)
 - 更新対象仕入先コード (Update Target Supplier Code)
 - 更新対象部門コード (Update Target Department Code)

6.3 仕入伝票データの規則

項目名	データ	桁数	必要	説明
【ヘッダー情報】				
伝票区分	数字	1		0：債務計上 1：即時支払 空白データを受け入れた場合は、「0：債務計上」が設定されます。
伝票区分名	文字			参照のみ。
仕入日付	文字	11		形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「日付の形式」参照
精算日付	文字	11		形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「日付の形式」参照 空白データを受け入れた場合は、「仕入日付」と同じ日付が設定されます。
伝票 No.	英数カナ	6-15		この項目は、仕入伝票の付番方法（[仕入管理規程]メニューの[仕入管理]ページで設定）が「手入力する」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。
仕入先コード	英数カナ	1-20	○	桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[取引先管理]ページ）によって異なります。
仕入先名	文字	60		この項目は、仕入先のスポット区分が「スポット仕入先」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、仕入先の仕入先名（[仕入先]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
仕入先事業所名	文字	40		この項目は、仕入先のスポット区分が「スポット仕入先」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、仕入先の事業所名（[仕入先]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
仕入先略称	文字	60		
仕入先担当者	文字	30		空白データを受け入れた場合は、仕入先の担当者氏名（[仕入先]メニューの[ご担当]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税計算	数字	1		0：明細単位 1：伝票単位 2：請求書単位 空白データを受け入れた場合は、仕入先の消費税計算（[仕入先]メニューの[消費税]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税計算名	文字			参照のみ。

債務区分	数字	1		0：営業外債務 1：営業債務 空白データを受け入れた場合は、仕入先の伝票債務区分（[仕入先]メニューの[仕入]ページで設定）が設定されます。 この項目は、『債務奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れできます。
債権区分名	文字			参照のみ。
債務伝票 No.	英数カナ	6-15		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「伝票区分」が「0：債務計上」 ・債務伝票の「仕入伝票から作成時は仕入伝票の伝票 No. と同じにする」（[仕入管理規程]メニューの[債務管理]ページで設定）にチェックが付いていない ・債務伝票 No. の付番方法（[仕入管理規程]メニューの[債務管理]ページで設定）が「手入力する」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。
精算先コード	英数カナ	1-20		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[取引先管理]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、仕入先の精算先（[仕入先]メニューの[精算]ページで設定）が設定されます。
精算先名	文字			参照のみ。
精算先事業所名	文字	40		
精算先略称	文字	60		
債務部門コード	英数カナ	1-15		この項目は、「伝票区分」が「0：債務計上」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、得意先の「債務主部門」（[仕入先]メニューの[仕入]ページで設定）が設定されます。
債務部門名	文字			参照のみ。
債務プロジェクトコード	英数カナ	4-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 ・「伝票区分」が「0：債務計上」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、仕入先の「債務主プロジェクト」（[仕入先]メニューの[仕入]ページで設定）が設定されます。
債務プロジェクト名	文字			参照のみ。
債務工程／工程コード	英数カナ	1-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『債務奉行クラウド』または『債権奉行クラウド』をご利用の場合

				合 ・工程／工種（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 ・仕入伝票の伝票区分が「債務計上」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、仕入先の「債務主工程／工種」（[仕入先]メニューの[仕入]ページで設定）が設定されます。
債務工程／工種名	文字	1		参照のみ。
仕訳作成対象	数字	1		0：対象外 1：対象 空白データを受け入れた場合は、「1：対象」が設定されます。
精算単位	数字	1		0：債務伝票 1：精算締め 空白データを受け入れた場合は、仕入先の精算単位（[仕入先]メニューの[精算]ページで設定）が設定されます。
支払予定確定単位	数字	6-15		
精算 No.	英数カナ	1-15		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・精算締めの付番方法（[仕入管理規程]メニューの[債務管理]ページで設定）が「開始精算 No. を手入力する」 ・「精算単位」が「0：債務伝票」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。
部門コード	英数カナ	1		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①仕入先の購入主部門（[仕入先]メニューの[仕入]ページで設定） ②担当者コードで設定された担当者の部門（[担当者]メニューの[基本]ページで設定） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
部門名	文字			参照のみ。
担当者コード	英数カナ	4-10		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、仕入先の購入主担当者（[仕入先]メニューの[仕入]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
担当者名	文字			参照のみ。
プロジェクトコード	英数カナ	4-20		この項目は、プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、仕入先の購入主プロジェクト

				（[仕入先]メニューの[仕入]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
プロジェクト名	文字			参照のみ。
工程／工種コード	英数カナ	1-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『債務奉行クラウド』または『債権奉行クラウド』をご利用の場合 工程／工種（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、仕入先の購入主工程／工種（[仕入先]メニューの[仕入]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
工程／工種名	文字			参照のみ。
摘要	文字	200		※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
摘要 2	文字	200		
摘要 3	文字	200		
処理区分	数字	1		0：新規 1：削除 空白で受け入れた場合は、0：新規で受け入れられます。
更新対象伝票 No.	文字	6-15		更新対象の伝票の伝票 No. を設定します。 ※該当の伝票が複数検索された場合は、削除できません。 【必須になる条件】 ・処理区分が「1：削除」の場合
更新対象伝票日付	英数カナ	11		更新対象の伝票の伝票日付を設定します。 ※更新対象の伝票の検索条件に含めない場合は、必要ありません。 ※該当の伝票が複数検索された場合は、削除できません。
更新対象仕入先コード	英数カナ	1-20		更新対象の伝票の仕入先を設定します。 ※更新対象の伝票の検索条件に含めない場合は、必要ありません。 ※該当の伝票が複数検索された場合は、削除できません。
更新対象部門コード	英数カナ	1-15		更新対象の伝票の部門を設定します。 ※更新対象の伝票の検索条件に含めない場合は、必要ありません。 ※該当の伝票が複数検索された場合は、削除できません。
更新対象 O B C i D	英数カナ	50		更新対象の伝票の O B C i D を設定します。 ※更新対象の伝票の検索条件に含めない場合は、必要ありません。 ※該当の伝票が複数検索された場合は、削除できません。
登録日時	文字	15		・抽出時の形式 和暦の形式でも西暦の形式でも記載できます。 【例】 “2020/4/1 10:30:20”

修正日時	文字	15		“20/4/1 10:30:20” “2020 年 4 月 1 日 10:30:20” “令和 2 年 4 月 1 日 10:30:20”
最終更新日時	文字	15		※月日が 1 桁の場合は、1 桁のままだでも、「スペース」を付けて 2 桁にしても記載できます。 ・出力結果は必ず西暦になります。
【証憑】				
証憑 No. 1	英数カナ	15		
証憑ファイルパス 1	文字	2083		
証憑ファイル名 1	文字	256		
証憑ファイルキー 1	文字	32		受入時、証憑をアップロードする場合は、事前にアップロードした 際に返却された fileKey をセットして受け入れます。 作成時、証憑がアップロードされている場合に出力されます。証憑 をダウンロードする際に使用します。
証憑 No. 2	英数カナ	15		「証憑 No. 1」「証憑ファイルパス 1」「証憑ファイルキー 1」のい ずれも指定されていない場合は、1 つ目の証憑として受け入れら れます。
証憑ファイルパス 2	文字	2083		
証憑ファイル名 2	文字	256		
証憑ファイルキー 2	文字	32		受入時、証憑をアップロードする場合は、事前にアップロードした 際に返却された fileKey をセットして受け入れます。 「証憑 No. 1」「証憑ファイルパス 1」「証憑ファイルキー 1」のい ずれも指定されていない場合は、1 つ目の証憑として受け入れら れます。 作成時、証憑がアップロードされている場合に出力されます。証憑 をダウンロードする際に使用します。
【明細情報】				
明細行番号	数字	3		
明細種別	数字	1	△	0：明細 1：グループ 空白データを受け入れた場合は、「0：明細」が設定されます。 【必須になる条件】 「仕入区分」が「8：見出し」の明細を受け入れる場合は、その見 出しによってグループ化する明細に「1：グループ」を設定する必 要があります。 詳細は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の【明細按分がある 明細の受け入れ】参照
明細種別名	文字			参照のみ。
仕入区分	数字	1	○	0：仕入 1：返品 2：値引 3：消費税 4：摘要 8：見出し 9： その他 10：付箋 19：外税調整 21：内税調整 「4：摘要」「8：見出し」「10：付箋」「19：外税調整」「21：内税 調整」のみの伝票は受け入れできません。
仕入区分名	文字			参照のみ。
入荷区分	数字	1	△	0：未仕入 1：全数仕入 2：一部仕入

				この項目は、リレー入力の場合に設定します。 詳細は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の【発注伝票または 入荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
入荷区分名	文字			参照のみ。
リレー元伝票種類	数字	1	△	0：発注伝票 1：入荷伝票 【必須になる条件】 リレー入力の場合 詳細は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の【発注伝票または 入荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
リレー元伝票種類名	文字			参照のみ。
リレー元 No.	英数カナ	6-15	△	【必須になる条件】 リレー入力の場合 詳細は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の【発注伝票または 入荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
リレー元日付	文字	11		参照のみ。
リレー元仕入先コード	英数カナ	1-20		詳細は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の【発注伝票または 入荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
リレー元仕入先名	文字			参照のみ。
リレー元部門コード	英数カナ	1-15		詳細は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の【発注伝票または 入荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
リレー元部門名	文字			参照のみ。
リレー元 O B C i D	英数カナ	50		詳細は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の【発注伝票または 入荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
リレー元明細行番号	数字	3		
リレー元入荷内訳行 番号	数字	3	△	
商品コード種類	数字	1		1：コード 2：コード2 3：コード3 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れで きます。 ・商品コード2、または商品コード3（メインメニュー右上にある [設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設 定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「8：見出し」「9： その他」 空白データを受け入れた場合は、使用する商品コード（[仕入管理 規程]メニューの[仕入管理]ページで設定）が設定されます。
商品コード種類名	文字			参照のみ。
商品コード	英数カナ	1-40	△	「商品コード種類」の設定によって受け入れられるコードが異な ります。 この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「8： 見出し」「9：その他」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運 用設定]メニューの[商品]ページ）によって異なります。 【必須になる条件】

				「仕入区分」が「0：仕入」または「1：返品」の場合 ※リレー入力の場合、リレー元明細と同じ商品コードを設定する必要があります。
商品名	文字	60		この項目は、「仕入区分」が「10：付箋」「19：外税調整」「21：内税調整」の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、商品の商品名（[商品]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
商品名 2	文字	40		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・商品名 2（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「10：付箋」「19：外税調整」「21：内税調整」以外 空白データを受け入れた場合は、商品の商品名 2（[商品]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
商品名 3	文字	40		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・商品名 3（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）が「使用する」 ・「仕入区分」が「10：付箋」「19：外税調整」「21：内税調整」以外 空白データを受け入れた場合は、商品の商品名 3（[商品]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
バリエーションコード種類	数字	1		1：コード 2：コード 2 3：コード 3 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『S システム』をお使いの場合 ・バリエーション（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・バリエーションコード 2 かバリエーションコード 3（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、使用するバリエーションコード（[仕入管理規程]メニュー[仕入管理]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元

				の値が設定されます。
バリエーションコード種類名	文字			参照のみ。
バリエーションコード	英数カナ	1-40		バリエーションコード種類の設定によって受け入れられるバリエーションコードが異なります。 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『S システム』をお使いの場合 ・バリエーション（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
バリエーションコード名	文字			参照のみ。
発行コード	英数カナ	40		
荷姿コード	英数カナ	10		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『S システム』をお使いの場合 ・荷姿（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「9：その他」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、主仕入荷姿区分コード（[荷姿]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
荷姿名	文字			参照のみ。
仕入取引コード	英数カナ	4-10	△	この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「3：消費税」「9：その他」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[債務管理]ページ）によって異なります。 【必須になる条件】 「仕入区分」が「4：摘要」「8：見出し」「10：付箋」以外の場合 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
仕入取引名	文字			参照のみ。
注文 No.	文字	20		この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れできます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元

				の値が設定されます。
倉庫コード	英数カナ	4-10		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・倉庫（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「9：その他」 ・商品の在庫管理（[商品]メニューの[在庫]ページ）が「する」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、商品の主倉庫（[商品]メニューの[在庫]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
倉庫名	文字			参照のみ。
入数	数字	12		整数 7 桁 小数 4 桁 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・拡張項目 1（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、商品の入数（[商品]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
入数 2	数字	12		整数 7 桁 小数 4 桁 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・拡張項目 2（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、商品の入数 2（[商品]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
箱数	数字	12		整数 7 桁 小数 4 桁 マイナスも可 この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れできます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。 ※リレー入力の場合は、「入荷区分」が「0：未仕入」以外の場合に設定できます。
計算式項目 1	数字	18		整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形

				式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・計算式項目 1 使用（[価格]メニューで設定）が「する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①価格計算式（[価格]メニューの[基本]ページで登録）の計算結果 ②商品の計算式項目 1（[価格]メニューで設定） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
計算式項目 2	数字	18		整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・計算式項目 2 使用（[価格]メニューで設定）が「する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①価格計算式（[価格]メニューの[基本]ページで登録）の計算結果 ②商品の計算式項目 2（[価格]メニューで設定） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
計算式項目 3	数字	18		整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・計算式項目 3 使用（[価格]メニューで設定）が「する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①価格計算式（[価格]メニューの[基本]ページで登録）の計算結果 ②商品の計算式項目 3（[価格]メニューで設定） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
計算式項目 4	数字	18		整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・計算式項目 4 使用（[価格]メニューで設定）が「する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①価格計算式（[価格]メニューの[基本]ページで登録）の計算結果

				②商品の計算式項目 4（〔価格〕メニューで設定） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
計算式項目 5	数字	18		整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・計算式項目 5 使用（〔価格〕メニューで設定）が「する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①価格計算式（〔価格〕メニューの〔基本〕ページで登録）の計算結果 ②商品の計算式項目 5（〔価格〕メニューで設定） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
数量	数字	14		整数 9 桁 小数 4 桁 マイナスも可 この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れできます。 小数部分の桁数は、「数量小数桁」の設定によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①価格計算式（〔価格〕メニューの〔基本〕ページで登録）の計算結果 ②「入数」、「入数 2」、「箱数」をもとに設定 ※リレー入力の場合は、「入荷区分」が「0：未仕入」以外の場合に設定できます。 詳細は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の【発注伝票または入荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
単位	数字	6		この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、商品の単位（〔商品〕メニューの〔基本〕ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
単価	数字	14		整数 9 桁 小数 4 桁 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①価格計算式（〔価格〕メニューの〔基本〕ページで登録）の計算結果 ②単価（〔単価〕メニューで登録）をもとに設定 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税率種別	数字	1		0：標準 1：軽減

				この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「3：消費税」「9：その他」の場合に受け入れできます。 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①商品の消費税率種別（[商品]メニューの[消費税]ページで設定） ②仕入取引の消費税率種別（[仕入取引]メニューの[消費税]ページで設定） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税率種別名	文字			参照のみ。
消費税率	数字	2		10、8、5、3 この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「3：消費税」「9：その他」の場合に受け入れできます。 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、「仕入日付」によって設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
申告書計算区分コード	数字	4		この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「3：消費税」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、仕入取引の申告書計算区分（[仕入取引]メニューの[消費税]ページで設定）が設定されます。 ※仕入先の「仕入先優先に設定する」（[仕入先]メニューの[消費税]ページで設定）にチェックが付いている場合は、仕入先の取引発生区分を加味して設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
インボイス取引区分	数字	1		0：適格請求書発行事業者から購入 1：免税事業者等から購入 2：対象外 空白データを受け入れた場合は、「申告書計算区分」と仕入先の「インボイス登録区分」をもとに設定されます。
仕入税額控除経過措置の控除割合	数字	2		80：控除割合 80% 必ず、以下の値が設定されます。 仕入日付がインボイス制度施行日前 ⇒空白 控除インボイス取引区分が「0：適格請求書発行事業者から購入」 ⇒空白 控除インボイス取引区分が「1：免税事業者等から購入」 ⇒控除割合 80%
消費税自動計算	数字	1		0：計算しない 1：税抜金額から計算する 2：税込金額から計算する

			この項目は、「仕入区分」が「4：摘要」「10：付箋」以外の場合に受け入れできます。 「仕入区分」が「3：消費税」「19：外税調整」「21：内税調整」の場合は、「0：計算しない」だけ受け入れできます。 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①商品の消費税自動計算（[商品]メニューの[消費税]ページで設定） ②仕入取引の消費税自動計算（[仕入取引]メニューの[消費税]ページで設定） ※仕入先の「仕入先優先に設定する」（[仕入先]メニューの[消費税]ページで設定）にチェックが付いている場合は、仕入先の税抜税込が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税端数処理	数字	1	0：切り上げ 1：四捨五入 2：切り捨て この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れできます。 課税の対象外または、「消費税自動計算」が「0：計算しない」の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、仕入取引の消費税自動計算（[仕入取引]メニューの[消費税]ページで設定）が設定されます。 ※仕入先の「仕入先優先に設定する」（[仕入先]メニューの[消費税]ページで設定）にチェックが付いている場合は、仕入先の端数処理が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
金額	数字	13	マイナスも可 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、「仕入区分」が「3：消費税」「4：摘要」「8：見出し」「10：付箋」の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①価格計算式（[価格]メニューの[基本]ページで登録）の計算結果 ②「数量」、「単価」をもとに設定 ※商品の「数量入力」（[商品]メニューの[基本]ページ）が「しない」の場合は、単価（[単価]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税額	数字	13	マイナスも可 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、「仕入区分」が「4：摘要」「8：見出し」「10：付箋」

				以外の場合に受け入れできます。 課税の対象外または、「消費税自動計算」が「0：計算しない」の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、「金額」、「消費税率」をもとに設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
明細部門コード	英数カナ	1-15		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・部門・担当者の伝票明細入力（[仕入管理規程]メニュー[基本]ページで設定）が「する」 ・「仕入区分」が「4：摘要」「10：付箋」以外 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①部門コードが設定されます。 ②明細担当者コードで設定された担当者の部門（[担当者]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
明細部門名	文字			参照のみ。
明細担当者コード	英数カナ	4-10		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・部門・担当者の伝票明細入力（[仕入管理規程]メニュー[基本]ページで設定）が「する」 ・「仕入区分」が「4：摘要」「10：付箋」以外 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「担当者コード」が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
明細担当者名	文字			参照のみ。
明細プロジェクトコード	英数カナ	4-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 ・部門・担当者・プロジェクトの伝票明細入力（[仕入管理規程]メニュー[基本]ページで設定）が「する」 ・「仕入区分」が「4：摘要」「10：付箋」以外 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「プロジェクトコード」が設定されます。

				※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
明細プロジェクト名	文字			参照のみ。
明細工程／工種コード	英数カナ	1-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『債務奉行クラウド』または『債権奉行クラウド』をご利用の場合 ・工程／工種（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 ・部門・担当者・プロジェクト・工程／工種の伝票明細入力（[仕入管理規程]メニュー[基本]ページで設定）が「する」 ・「仕入区分」が「4：摘要」「10：付箋」以外 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「工程／工種コード」が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
明細工程／工種名	文字			参照のみ。
備考	文字	40		※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
仕入計上基準	数字	1		0：出荷基準 1：仕入検収基準 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「9：その他」 ・商品の在庫管理（[商品]メニューの[在庫]ページ）が「する」 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①商品の仕入計上基準（[商品]メニューの[仕入]ページ） ②仕入先の仕入計上基準（[仕入先]メニューの[仕入]ページ） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
入数小数桁	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・拡張項目 1（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「入数」の小数桁と商品の入数小数桁（[商品]メニューの[基本]ページで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
入数2小数桁	数字	1		0～4

				この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・拡張項目 2（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「入数 2」の小数桁と商品の入数 2 小数桁（[商品]メニューの[基本]ページで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
箱数小数桁	数字	1		0～4 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れできます。 項目名は設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「箱数」の小数桁と商品の箱数小数桁（[商品]メニューの[基本]ページで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
計算式項目 1 小数桁	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・計算式項目 1（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「計算式項目 1」の小数桁と商品の計算式項目 1 小数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
計算式項目 2 小数桁	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・計算式項目 2（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「計算式項目 2」の小数桁と商品の計算式項目 2 小数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
計算式項目 3 小数桁	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。

				・計算式項目3（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「計算式項目3」の小数桁と商品の計算式項目3小数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
計算式項目4 小数桁	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・計算式項目4（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「計算式項目4」の小数桁と商品の計算式項目4小数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
計算式項目5 小数桁	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・計算式項目5（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「計算式項目5」の小数桁と商品の計算式項目5小数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
数量小数桁	数字	1		0～4 この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、「数量」の小数桁と商品の数量小数桁（[商品]メニューの[基本]ページで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合は、「入荷区分」が「0：未仕入」以外の場合に設定できます。
単価小数桁	数字	1		0～4 この項目は、「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、「単価」の小数桁と商品の単価小数桁（[単価]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
バラ数量	数字	14		

バラ単位	文字	6		
返品元日付	文字	11		
返品元伝票 No.	英数カナ	6-15		
【付箋情報】				
付箋色	数字	1		0：赤 1：青 2：黄 3：橙 4：緑 5：紫 「付箋メモ」を設定し、空白データを受け入れた場合は、「0：赤」が設定されます。
付箋色名	文字			参照のみ。
付箋メモ	文字	400		
【在庫受払情報】				
入荷内訳行番号	数字	2		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 ・「商品」の「在庫管理」（商品メニューの[在庫]ページ）が「する」 ・発注伝票からのリレー入力の場合
入荷内訳数量	数字	14		整数9桁 小数4桁 マイナスも可 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「仕入区分」が「0：仕入」「1：返品」「9：その他」 ・「商品」の「在庫管理」（商品メニューの[在庫]ページ）が「する」 ・発注伝票からのリレー入力の場合 小数部分の桁数は、「数量小数桁」の設定によって異なります。 以下の場合、未受入になります。 ・明細情報の「数量」と符号が異なる「入荷内訳数量」を設定した場合 ・明細情報の「数量」と「入荷内訳数量」の合計が不一致の場合 空白データを受け入れた場合は、以下のように設定されます。 ・「入荷内訳行番号」が「1」の場合 ⇒ 「明細情報」の「数量」が設定されます。 ・「入荷内訳行番号」が「2」以上の場合 ⇒ 「0」が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
棚番 No.	英数カナ	1-10		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）によって異なります。 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『S システム』をお使いの場合 ・棚番（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページで設定）が「使用する」 ・「倉庫」に「その他」以外の倉庫を設定している 空白データを受け入れた場合は、「倉庫」に紐づく「その他」の「棚番」が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元

				の値が設定されます。
入荷内訳金額	数字	16		マイナスも可 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 明細情報の「金額」と「入荷内訳金額」の合計が不一致の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、「数量」、「単価」をもとに設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
入荷内訳消費税額	数字	16		マイナスも可 形式は、「6.4 仕入伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 課税の対象外または、「消費税自動計算」が「0：計算しない」の場合は受け入れできません。 明細情報の「消費税額」と「入荷内訳消費税」の合計が不一致の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、「金額」、「消費税率」をもとに設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
入荷内訳バラ数量	数字	14		

6.4 仕入伝票データの規則（補足）

日付の形式

和暦の形式でも西暦の形式でも受け入れられます。

和暦の場合		西暦の場合
令和 01 年 05 月 01 日	平成 31 年 04 月 01 日	2019 年 04 月 01 日
R01/05/01	H31/04/01	2019/04/01
R01.05.01	H31.04.01	2019.04.01
R01-05-01	H31-04-01	2019-04-01

※月日が 1 桁の場合は、1 桁のままでも、「スペース」を付けて 2 桁にしても受け入れられます。

【例】「R01-05-01」は、「R1-5-1」または「R 1- 5- 1」でも受け入れ可能

数量・金額の形式

○：受入可能		×：受入不可	
	例		例
3 桁区切りなし	123456	3 桁区切りあり	123,456
ダブルクォーテーション	"123,456"		

【見出し付きの明細の受け入れ】

見出し付きの明細を受け入れる場合は、「仕入区分」と「明細種別」を以下のように設定します。

【例】

パソコンー式（見出しとなる明細）

└デスクトップパソコン（グループ化する明細）

└液晶モニター（グループ化する明細）

└キーボード（グループ化する明細）

└マウス（グループ化する明細）

4 行の明細を受け入れます。

1 行目（「パソコンー式」の明細）「仕入区分」⇒「8：見出し」、「明細種別」⇒「0：明細」

2～4 行目（「デスクトップパソコン」～「マウス」の明細）「仕入区分」⇒「8：見出し」以外、「明細種別」⇒「1：グループ」

【明細按分がある明細の受け入れ】

明細按分がある明細を受け入れる場合は、「明細番号」と「明細按分行番号」を以下のように設定します。

【例】

明細 10,000

└明細按分① 部門①5,000

└明細按分② 部門②5,000

2 行の明細を受け入れます。

1 行目「明細番号」：1、「明細按分行番号」：1（明細按分①）

2 行目「明細番号」：1、「明細按分行番号」：2（明細按分②）

【発注伝票または入荷伝票をリレーして受け入れる場合】

● リレー元の指定

以下の項目を設定してリレーする明細を指定します。

「リレー元伝票種類」	必須	リレーする伝票の種類を指定します。
「リレー元 No.」	必須	伝票 No. を指定します。
「リレー元日付」		
「リレー元仕入先コード」		
「リレー元部門コード」		
「リレー元 O B C i D」		
「リレー元明細行番号」		
「リレー元入荷内訳行番号」		

- ・「リレー元伝票種類」と「リレー元 No.」が設定されていない場合は通常の伝票として受け入れられます。
- ・該当する伝票が複数あり、リレー元を特定できない場合は未受入になります。
「リレー元 No.」だけでは重複する可能性がある場合は、「リレー元日付」「リレー元仕入先コード」「リレー元部門コード」「リレー元 O B C i D」を設定してください。
- ・「リレー元明細行番号」「リレー元入荷内訳行番号」が空白の場合は、該当の伝票の中で上から順にリレー可能な明細が自動的に特定されます。

● リレーする数量の指定

「入荷区分」を設定して指定します。

「入荷区分」を設定せずに、「数量」から「入荷区分」を自動判定して受け入れることもできます。

「入荷区分」と「数量」で矛盾した値が設定されている場合は、未受入になります。

ただし、「入荷区分」が「2：一部仕入」で「数量」が全数の場合は、「1：全数仕入」として受け入れられます。

連携プラグイン for 蔵奉行クラウド 仕入伝票データ連携 ユーザーズマニュアル

2023 年 06 月 02 日 第 6 版発行